

様式 13

## 論文の概要および審査結果の要旨

氏名：山崎 晶子

学位の種類：博士（看護学）

学位記番号：看博乙第 1 号

学位授与の日付：2024 年 3 月 16 日

学位授与の要件：関西福祉大学大学院 学位授与規程第 3 条第 2 項

研究科・専攻：看護学研究科・看護学専攻

学位論文題目：乳幼児期のコペアレンティングと妊娠期の父親像形成に関する研究

論文審査委員 主査：西村 夏代（所属・職位 関西福祉大学大学院看護学研究科・教授）

副査：難波 峰子（所属・職位 関西福祉大学大学院看護学研究科・教授）

副査：濱西 誠司（所属・職位 関西福祉大学大学院看護学研究科・教授）

### （1）論文の概要

本研究の目的は、妊娠中に形成された父親像が、乳幼児期のコペアレンティングにどの程度影響を及ぼすかを明らかにすることである。

論文は、第 1 から第 3 研究で構成され、第 1 研究では父親像の概念を推定するため、親となる男性が父親意識と役割行動を獲得していく過程とその関連要因について文献検討を行い知見が得られた。第 2 研究では 3 歳未満の第 1 子を養育している 18-55 歳の父親を対象としたアンケート調査を実施し、父親像とコペアレンティングの関連について重回帰モデルを用いて検討し、父親像がコペアレンティングに影響を及ぼしていることを明らかにした。第 3 研究では、父親像に影響を及ぼす要因を独立変数として投入した重回帰モデルを用いて分析し、産前産後健診への同行歴などが影響していることを明らかにした。

以上から、本論文は父親像とコペアレンティングの関連性及び、父親像に影響を及ぼす要因について定量的に明らかにし、新しい知見が得られたことから、育児支援方法の検討に貢献できる可能性があることが確認された。

### （2）論文審査の結果の要旨

本研究では、父親像がコペアレンティングに影響を及ぼしていることを明らかにし、得られた知見を基に育児支援に貢献できる可能性について言及している。このことは、本論文の研究としての独創性、研究手法の確実性、育成発達看護学領域の母性看護学発展への寄与という観点、及び学術的価値、研究成果の有用性、人々の生活の質向上への貢献、実践への適用の可能性において確認し、優れた博士学位論文として評価する。